

中野区放課後サービスセンターみずいろ 放課後等デイサービス評価表

令和2年度評価集計と対応について
令和3年3月4日発表

実施日時：令和3年1月30日
実施対象：事業所に勤務する職員
常勤職員10名 非常勤職員6名
実施方法：無記名回収
回収数：12通 (75%)

事業者向け 放課後等デイサービス評価表集計

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係が適切である	6	4	2	・コナで2G分けたら、ギリギリになってしまった。 ・利用定員に対しては、適切である。
	2	職員の配置数は適切である	3	4	5	・男児数に対して、男性スタッフが少ない ・個別対応が必要な児童が多い時は、安全を配慮した配置ができない。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切である	8	4		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		6	6	・目標設定することに、ようやく取り組んでいる。 ・職員一人一人の意識が必要
	5	保護者向けの評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	6	2	・意向等の把握はできて、すべてに寄り添える状況ではない。 ・改善可能な事案には、取組んできた。
	6	この自己評価の結果を、事業所の開放やホームページ等で公開している	4	5	2	・わからない。 ・公開したことは、知らせている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	4		・今回、久々に行っている。 ・前回(H27)の結果の周知がなく、改善事項が改善されていない。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している	9	2	1	・SV研修を実施している。 ・研修の必要性を認識しているが、計画が進んでいない。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成している	8	4		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	6	4	・わからない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	3		・スタッフが、様々工夫し、立案している。 ・子どもたちの様々な状況を思案しながら、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	2		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	5		・個別の対応はできていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成している	8	4		
	15	支援開始前に職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認している	10	2	2	・送迎業務のスタッフは、できない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4	6	2	・送迎に関わっているスタッフは、できないが、残ったメンバーで話し合い、翌日には、申し送りしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	7	2	・日誌はあるが、個別支援の記録はない。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	4	1	
	19 がトラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	4	7	1	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子ども状況に精通した最もふさわしいものが参画している	3	8	1	・わからない。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	10	2		・実施できている学校とできていない学校がある。
	22 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で、情報共有と相互理解に努めている	4	8		
	23 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	7	2	・要望があれば、実施している。
	24 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	6	2	
	25 放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	2	4	6	・以前は、実施していた ・コロナ感染症予防のため控えている。
	26 (地域自立支援)協議会等へ、積極的に参加している	1	8	3	
	27 日頃から、子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について、共通理解を持っている	9	3		
28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	5		
保護者への説明責任	29 運営規定、支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	6		・自分は、行なう機会がないので、不明。
	30 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	3		
	31 保護者会等の開催等により、保護者同士の連携を支援している	2	8	2	・今年度は、実施できていない。
	32 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	4		
	33 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	2		
	34 個人情報に十分、注意している	8	4		
	35 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	3		
36 事業所の行事に、地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っている	2	6	4	・以前は、実施していたが、現在はできていない。	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	6	3	・自分は、行っていない。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	2	1	
	40	虐待防止のために、職員の研修機会を確する等、適切な対応をしている	4	7	1	・1度、実施した。 ・言葉遣い、呼捨て等への注意喚起は行っているが、浸透しない。
	41	どのような場合にやむを得ず、身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	6	2	・話し合い等を行っているが、具体策まで、進んでいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	2	1	
	43	ヒヤハット事例集を作成して、事業所内で共有している	4	5	3	・以前は、あったが、現状継続されていない。

中野区放課後サービスセンターみずいろ 放課後等デイサービス評価表

令和2年度評価集計と対応について
令和3年3月4日発表

実施日時：令和3年1月30日
実施対象：事業所登録利用児の保護者様（49世帯）
実施方法：保護者世帯にアンケート用紙郵送
回収数：37通（75.5%）※返送用封筒同封
実施方法：無記名回収

保護者向け 放課後等デイサービス評価表集計

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	35	2		・区の施設なので、とても広い
	2	職員の配置数や専門性は適切である	28	9		・過去に、配置に問題があり改善されたようだが、どのように改善されたのかは、わからない。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮がある	36	1		
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されている	35	2		・計画内容は、子どもに適している。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	33	4		・コロナの影響で、外出制限があり、仕方がないと思っている。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や障がないの子どもと生活する機会がある	11	24	2	・コロナの影響で活動の幅が狭まった。早く、落ち着いて例年通りになると良い。 ・特に多くあるわけではないと思う。
保護者への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされている	35	1	1	・7,11,12,13,15は、以前よりだいぶ改善されて、整った。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解できている	36	1		
	9	保護者に対して、育児に関する助言等の支援が行われている	26	8	3	
	10	保護者会の開催等により、保護者同士の連携が支援されている	9	22	6	・コロナで開催できない。(多数意見) ・保護者同士の連携の必要性を感じていない。支援がなくても不満はない。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	30	6	1	・リモートで面談できないかとの要望にすぐに対応してくれた。 ・様子や対応の仕方など、詳しく伝えてもらっている。
	12	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がされている	36	1		
	13	定期的に開放やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信している	28	9		
	14	個人情報に十分注意している	33	4		
非常時 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されている	35	2		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	36	1		
満足度	17	子どもは、通所を楽しみにしている	35	2		・なかなか行く機会がない。 ・慣れるまで、もう少し時間がかかりそう。
	18	事業所の支援に満足している	36	1		